



ささやま市議会だより



シャクナゲまつり

競演花まつり



れんげ花まつり



ささやま桜協会さくら巡り

第 8 号

平成13年5月21日発行

おもな内容

- ◆平成13年度予算審議 P 2~5
- ◆委員会活動報告 P 6~7
- ◆一般質問(代表・個人) P 8~14
- ◆陳情・要望・決議 P 15
- ◆議会のうごき・編集後記(まちなみ) P 16

平成十三年度

当初予算が成立

総額 619億3900万円

3月定例会は3月6日から27日までを会期として開き、平成13年度、当初予算（一般会計他14会計）が提案され、総務文教、民生福祉、産業建設の各常任委員会に付託しました。また、市長の市政執行方針、教育長の教育方針表明も行われました。

市長の市政執行方針

3月定例会の中で、市長は「新世紀に飛躍する篠山市の創造と改革への挑戦」と決意を述べるとともに、新年度においては

- ①未来を拓く心豊かな人づくり
- ②健康で心やすらぐまちづくり
- ③恵み豊かな環境と安全のまちづくり
- ④創造性に満ちた活力ある産業づくり
- ⑤発展を支える効率的な行政基盤づくり

などを柱として、市政の推進に全力を傾注することを表明しました。

これを受けて、3月19日には、初めての代表質問、また個人質問を行い、市政課題など市長や関係当局に質問しました。

この後、予算、条例、事件決議などの議案は、各常任委員会での審査を経て、本会議で原案どおり可決しました。

重点施策の概要

- ①篠山チルドレンズミュージアムの整備
- ②篠山市民センター（仮称）の建設
- ③篠山市中央図書館（仮称）の建設
- ④西紀地区運動公園（仮称）の整備推進
- ⑤篠山中学校の移転改築の整備推進
- ⑥篠山市障害者総合支援センター（仮称）の建設
- ⑦こんだ薬師温泉と農業公園（仮称）の整備促進

平成13年度 当初予算

(単位：千円、%)

区 分	平成13年度	平成12年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	31,775,000	29,992,000	1,783,000	5.9
特別会計〔12会計〕	21,646,307	21,243,849	402,458	1.9
公営企業会計〔2会計〕	8,517,776	5,697,264	2,820,512	49.5
合 計	61,939,083	56,933,113	5,005,970	8.8

平成13年度 一般会計317億7500万円

総務文教常任委員会 渡辺省悟委員長

平成13年度一般会計予算は、歳入総額317億7500万円、市税の割合は15・8%で前年度に比し、1・3%の減で9994万9千円の減収を見込む。地方交付税に依存し、市債を前年度より8億3050万円多く発行し、市債総額93億8370万円にして収支を合わせているのが現状である。

一般会計は、対前年度比5・9%増の積極予算とはいえ、厳しい財政状況であることをふまえ、当初予算が効率的に編成されているか、市長の市政執行方針「創造と改革への挑戦」がどのように裏づけられているか、また教育長の教育方針が具体的に肉づけされ進められようとしているのか、行財政改革がどのように盛り込まれているかなど

に重点を置き審査した。総括質問は5点に絞り回答を求めた。

- 1、新施設への職員配置と行革による減員の整合は。
- 2、丹南公民館の完成年度は。
- 3、教育方針と教育実践の落差の是正。
- 4、西紀地区運動公園について
- 5、農業公園・こんだ薬師温泉について

審査は多岐に亘っており、問題点はその都度、担当部局に指摘をしてきたところですが、以下、際立ったものについて、報告する。

【総務部】

市有地貸付による財産収入20件。
無償貸付分の検討と見直し、市有林は看守人まかせでなく、職員の現地

【政策部】

兵庫医大の関連施設の整備は合併前からの約束だが、養成施設の整備の確約は如何。運営協議会も可動していないのではないか。医大へ要望する



委員会でこんだ薬師温泉を視察しました

踏み込みすべきこと。パソコン、フロップピーディスクの管理体制が不十分、取扱い要領をつくらべきである。

農耕用のナンバープレートの取りつけができていない。更新時に農機具店に協力してもらう方法は。市民税の前納奨励金が3274万2千円計上されているが、行革、不公平税制の視点から、全廃する方向で検討されたい。自治会の補助について、委託料、補助金の支給基準の考え方は、行政協力員の呼称の整理、再検討など。

他に多くの指摘があり13年度の執行に意見を尊重されるよう要望した。当委員会付託分は委員全員の賛成をもって原案通り可決した。

【教育委員会】

不登校児童生徒の「適応教室」が開設される。58人と保護者への対応が指導者ひとりでは無理があるのではないか。また、前兆があるときの対応や教師への指導は積極的に取り組むべきである。

教育施設予算が今年も篠山東部に集中している。40年経過の古市小の耐力調査、旧西部3町の給食センターの改築の具体的な検討は。

必要があると考える。

障害者総合支援センター・斎場・清掃センター等を審議

民生福祉常任委員会 松本 孜 委員長

平成13年度篠山市一般会計予算並びに特別会計5件、それぞれ当委員会に付託され審査をし、原案通り可決したのでその概要を報告する。

「生活部」の主な指摘事項

戸籍
・住民基本台帳全国ネットワークシステムと個人情報漏洩防止の措置は必要である。

斎場
・新しい斎場を栗柄に建設中。平成14年3月末竣工の予定で、11億1650万円を計上。

清掃センター
・現センターの隣に新たな施設を建築中。リサイクルプラザは平成14年3月竣工予定。

焼却施設は平成14年12月に竣工予定で、計画通り進捗、本年は26億4717万1千円を計上。

家電リサイクル

・家電リサイクル法施行と市のポイ捨て等防止条例が7月から施行されるが、その間の不法投棄の対策は。
・パトロールの徹底と住民意識の向上及びリサイクル認識と普及のPR強化に努めたい。6月補正も考える。

「保健福祉部」の主な指摘事項

社会福祉協議会の活動
・介護保険に関する助成は出来ない。高齢者に対する事業活動、福祉活動には支援していく。

障害者総合支援センター
・平成14年3月には一部完成して使用する。6億1334万円を計上。他に保育所、老人会、年金、団体補助等。

特別会計

国民健康保険
・世帯数7540、高齢化率36・96%の国保総事業費は33億2763万円である。

・東雲、後川、草山、今田の4診療所はそれぞれ2400万〜5700万円の一般会計からの繰入れである。
・後川診療所は改築を行う。2766万8千円計上した。

介護保険
・認定者は年々増えている。介護相談員として

19名で発足した。

住宅資金の貸付金について

・滞納がある。

老人保健の医療費について

・年々増加している。

最後に市長に※総括質問をした。

- ・不法投棄
- ・清掃センター
- ・救急医療体制の確立
- ・情報公開
- ・全国ネットワークシステム



建設が進む清掃センター

※市長総括質問とは？

質疑の方法には、①総括（一括）質疑、②一問一答の形式——がある。
議会の会議に付する案件（事件）を一括して議題とし、疑義を質す場合、議題とされた全事件に対する疑義を同一議員が全部述べ、その後提出者から答弁を求める質疑の方法である。
一問一答制は、一問し、答弁がなされ、なお納得できないで再質疑し、続いて第二問、第三問と順次同じように質疑していく。

産業経済部・建設部

企業部を審議

産業建設常任委員会

森 口 昌 英 委員長

平成13年度予算の中、産業経済部、建設部、企業部の3部に関わる予算を審議し、原案通り可決した。

予算額

〔産業経済部〕	20億4144万7千円	農林振興課	14億5041万円
農工観光課	2億8630万2千円	農業委員会	6402万6千円
農業共済事業会計	2億4070万9千円	〔建設部〕	134億2118万1千円
建設課	26億7833万8千円	都市計画課	5億8200万1千円
環境整備課	3億9442万8千円	水道事業会計	75億366万6千円
		ガス事業会計	10億1411万円
		観光施設事業特別会計	4億5100万円
		農業集落排水事業特別会計	22億8400万円
		〔企業部〕	89億6877万6千円
		土地取得特別会計	642万1千円
		特定環境保全公共下水道特別会計	33億2千万円
		下水道特別会計	8599万3千円
		宅地造成事業特別会計	40億7千万円
		農業振興の具体的な施策について	

※市長総括質問

〔産業経済部〕

農業振興の具体的な施策について

(1)集落営農のモデル地区の設置

市内230農業関係集落の内150集落で集落営農が行われている。1集落3万円程度の助成金が予算化されているが、目的達成には程遠い。やる気のある集落に多くの支援をして、篠山市の集落営農のモデルを作り上げることが活性化につながると思うが、如何か。

(2)担い手育成

市内には特色ある篠山産業高校東雲校がある。基礎知識を身につけた生徒や市内外問わず、農業にやる気を持った人達を迎え入れる制

度を立ち上げてはどうか。

〔建設部〕

市営住宅建設の今後の計画について

市営住宅は現在30団地で556戸が整備されている。これは旧4町当時に計画したものであり、人口6万人を目指しての住宅マスタープランとの整合性と今後の建設計画はどうか。

道路維持費の確保について

13年度予算では、道路維持費が前年度対比で3000万円の減額となっている。市民の道路に対する要望が多い現状を踏まえれば増額が必要と思われるが、如何か。

下排水事業の未加入者及び宅内配管未施工者に対する対策について

下排水事業は平成17年度末に市内全域で供給開始に向けて計画どおり進捗しているが、その普及率は74%で水洗化率は79%である。これら事業の

未加入者及び未接続者に対する対応と解決策は。

〔企業部〕

(仮称)ささやま荘の委託契約について

改築費4億5100万円を投資して新設される(仮称)ささやま荘は「クリエイトささやま」に委託されます。契約内容の管理経費として、毎年売上金の7%を支払って頂くようですが、赤字欠損が生じた時はどうされるのか。一般的に見て、定額協定を結ぶべきではないか。



県水受水の前山配水池

委員会報告

所管事務調査結果報告

総務文教、民生福祉、産業建設の各委員会は「行政改革実施計画」(案)について調査し次のような提言を行った。

行政改革の実施には、大きな決断と勇気が伴うものであるだけに、市長の陣頭指揮のもと、各関係部署の精力的な取り組みを期待してやまない。以下、項目ごとに際立って指摘された意見を付した。

総務文教常任委員会

開催日

1月15日・1月29日
2月8日・2月20日

【事務事業の見直し】

- ① 公用車と備品の管理体制を明確にされたい。
- ② 給食センターは、施設の統合改革をはかるとともに外部委託は、給食の教育的機能を損なわない範囲にとどめること。
- ③ スクールバスは料金体系を統一するとともに民間委託も検討する。
- ④ 城跡周辺の文化施設は、共通の管理運営体制にむけて整備するよう要望する。
- ⑤ 社会教育団体への補助は、育成にむけて積極的な助言をすること。

【組織機構】

- ① 幼保一元化の推進のため

めに検討機関をつくること。

- ② 学区制の見直しと、教育施設の統廃合は、中学校は篠山中学校の全面改革時には、見直しをスタートさせ、小学校は早期に再編ビジョンを確立されたい。
- ③ 職員の「昇任試験制度」の導入を検討されたい。
- ④ 行政改革を強力に推進する「専門担当部署」を設置し、併せて入札制度、情報公開の窓口も独立されたい。
- ⑤ 防災担当部署の指示系統を一日も早く構築されたい。

【定員及び給与】

- ① 定員管理の適正化を進めるため、勸奨退職制度の積極的活用などで、人件費の削減に取り組まされたい。

- ② 今後の職員採用については、公平性、透明性の確保をはかり、その配置等についても充分配慮が必要である。
- ③ 助役二人制、企業管理者の設置は、一期限りとされたい。

【人材の育成、確保】

- ① 土木、建築分野の技術力を備えた「専門職の確保」を図られたい。

【行政の情報化等のサービスの向上】

- ① 個人のノートパソコンに入っている情報の扱いには厳重に注意されたい。

【経費の節減合理化等の財政健全化】

- ① 市民税や固定資産税の納付書送付については、検討されたい。
- ② 選挙投票所の統合、投票時間の短縮、ポスター掲示場等の見直しを検討されたい。

【会館等の公共施設】

- ① 全館を住民負担の方向で検討すべきである。

- ② 公民館の運営は、全市的視点で本館と分館を明確にし、その整合と

民生福祉常任委員会

開催日

1月15日・1月24日
2月6日・2月15日
2月23日・2月27日

- ① 幼保の適正な配置と充実した環境整備は喫緊の課題とした。

【幼保一元化】

- 保育所の統廃合を進める。中央は私立2園、東部、西部、南部、北部および篠山口駅周辺には公立5園が適切。

- 民営化が可能なところは認可私立保育所に移行することが望ましい。特別保育の受け入れ態勢を整備充実する。

【幼稚園の2年制と統廃合を考える】

- 教諭免許および保育士免許は双方取得の指導をする。

- 保育料に差が広がらない工夫をすること。保育所、保育料を10〜14階層

横断的活用を図られたい。

- に細分化する。第3子目からの無料化の検討、通学区の撤廃、実現のために検討委員会の設置を求める。

【消防団組織機構の見直し】

- 班は廃止。可搬式ポンプは自治会に払い下げる。自治会における自主防災組織を充実、管理運営。分団は小学校単位、実情に合った再編整備を望む。

【ゴミの収集業務】

- 全市的に、収集業務の点検と見直し、分別収集の徹底を図り、民間業者の理解を求めながら、全市民営化に向けて検討されることを求める。

【し尿処理について】

- 下水道完備により、処理量の減少が見込まれる。現実には民営化は好ましくない。

産業建設常任委員会

開催日

1月16日・1月17日
2月23日・2月27日

【産業経済部】

(1) イベントの見直し

ふるさと祭りを始め11の祭りに補助金として支援してきたが、それぞれの地域の祭りとして位置付け、地域づくりを目的とする実行委員会方式へと移行すべきである。

(2) 補助金の整理統合

市内には管理費、補助金、負担金、事業費等合わせて68件にわたる支援をしている。事業においてはそれらを縮減することが改革とは言いがたく、今まで積み上げてきたものを縮減することのみがベターでない。暖かい指導体制の中での推進を期待する。

【建設部】

(1) 資格者の育成及び人材確保

建設部における人材

の育成、確保については、建築関係の専門職の配置を急がれたい。

(2) コスト縮減計画の策定

① 検討委員会の設置、行動計画の策定

平成9年度から平成11年度の3カ年で縮減目標の10%が達成できた。行政改革実施計画(案)の目標を達成するためには、コスト縮減検討委員会を設置して、平成12年度中に行動計画を策定し、具体的な内容、年度、効果額等を明記して実施に移されたい。

② 下水道処理施設の維持管理

維持管理に係るコスト縮減については、27処理施設の統一した管理が必要である。汚泥ケーキの肥料化等の利用も含め委託管理も手法のひとつである。平成17年度の全市完成を踏まえて年次の計画を樹立されたい。

【企業部】

(1) ガス事業の民営委譲の検討

天然ガスへの転換後に規制緩和によるエリアの拡大と民営化の検討を図られたい。

(2) 施設等維持管理について、集中管理システム導入

(管理会社に委託)

維持管理を必要とする水道施設は市内に80カ所ある。毎日の点検は職員3名と嘱託職員3名が49カ所を行って、新たな施設の建設及び統廃合を含めた整備計画が必要であり、集中管理システムの導入により、早急に検討されたい。

(3) 料金収納業務委託

(金融機関以外)

ガス、水道の使用料については、直接納付されている方に納付時間等の制約があるため、口座振替制度を推進されたい。

主な審議内容

(敬称略)

適任と認めました。

■ 人権擁護委員の推薦について

篠山市後川上一二二九番地一
倉 綾野

■ 篠山市名誉市民の決定

奈良市西大寺新田町七番九号
河合 隼雄

■ 教育委員会委員

篠山市今田町黒石三十番地
大前 衛

■ 公平委員会委員

篠山市新庄八四〇番地
倉垣 久

■ 固定資産評価審査委員会委員

篠山市岩崎五一三番地
石田 彦七

篠山市小坂一九九番地
藤本 健作

第61回国民体育大会開催に関する決議

平成18年に兵庫県下で開催される第61回国民体育大会は、広く市民にスポーツを普及し、健康の増進と体力の向上を図り、明るく豊かな市民生活に寄与するものとして意義深いものである。

よって篠山市議会は、今大会の開催にあたっては、本市において下記の競技を開催されるよう要望する。

記

ホッケー競技
スポーツ芸術

以上、決議する。

平成13年 3月27日

兵庫県篠山市議会

代表質問

、4名の代表議員が登壇。市政全般にわたって質問、提言などを行った。

篠山市行政推進について 「教育改革基本構想」

【新政会代表】

上月 格 男 議員

会設置され協議された経過があり尊重したい。

質問 篠山中学校移転跡地に篠山小学校を文化庁との合意により一代限りの移転があると聞くが、

市内には大書院完成、篠山市も発足、教育に対する客観情勢は大きく変化して来た。老朽校舎二校をすみやかに城外へ移転すべきだと考えるが。

質問 篠山中学校、小学校を速やかに城内から移転すべきとの質問ですが、城内三施設の移転等について校区の皆さんの心情は城跡地内での改築の声を無視する事はできません。

質問 「教育改革基本構想」で中学校通学区の見直し対象区域に、畑、岡野、城南、大山の各小学校区域があるが、篠山市全域の計画ではなく部分的な小手先の取り組みをどう理解すればよいのか。

質問 通学区の見直しにあたっては、将来を見通し、安全に通学しながら、生徒ひとりひとりが自ら学び、自ら考える、生きる力を獲得していく為、適正な規模の中で個性に応じた教育を目指す事としております。今回の建

質問 篠山中学校建設用地が既成事実の如く発表されているが、東中学校との整合をどう計られるのか、「教育改革基本構想」策定後に用地の検討をするのが順序だと思いが。

質問 篠山東中学校との整合については「教育の森構想計画策定委員会」、「篠山町統合中学校建設推進委員会」等、三委員

質問 小学校19校、10人未満が8校、5年後には50人未満が6校、複式編成も増加する。小規模校の対応をどう考えるか。

質問 篠山中学校建設用地が既成事実の如く発表されているが、東中学校との整合をどう計られるのか、「教育改革基本構想」策定後に用地の検討をするのが順序だと思いが。

質問 篠山中学校建設用地が既成事実の如く発表されているが、東中学校との整合をどう計られるのか、「教育改革基本構想」策定後に用地の検討をするのが順序だと思いが。

質問 少子化現象による小学校小規模化について中央教育審議会は、社会全体で子供を育てて行くという観点から少子化への教育面の対策として、ひとりひとりの個性、能力、適性、興味、関心等に応じた種々の工夫によって教育を実現し、環境整備に努めたい。

築予定地を適当な場所としながら、さらに通学に関する条件、状況を検討する。市内各中学校の通学区についても見直しを図り、通学条件に効果が期待できると考えられる地域について、教育改革基本構想検討委員会を設置している。市内中学校における通学区の在り方についても協議しているので一定の結論を得たいと考えております。



城跡内にある篠山中学校

ぜひ、傍聴に

総合スポーツ運動公園の

早期実現について

【青藍会代表】

畑 雄司 議員

質問 合併2年が経過し、旧町時からの継続事業も一定の方向が決まったいま、合併並びに新市発足のモニメントとして総合スポーツ運動公園を早期に計画決定されたい。福祉と文化の森構想が大きく後退したいま、県から払い下げを受け、その中核施設として、本格的野球場、篠山スタジアム（仮称）を建設し、周辺に大型体育館、陸上競技場や各種コートを整備し、市民の広場も併設し、全市民のスポーツ振興はもとより学校週休二日制も視野に入れた青少年の健全な育成のためにも是非必要な施設である。60億

程度の規模となるが特例債を活かし、年間のスポーツイベントをここに集中する相乗効果は大きい。市民の熱望に応えられよ。

答弁 昨年の10月以来、公式野球場早期建設要望に係る署名活動をなされ、市民の多くの方の賛同を得られ、その熱い思い、期待を背負われて、今日ご質問を頂いたと考えております。

特に要望書の中にも書かれておりますように、青少年の健全育成、地域のスポーツ振興、市民の健康増進に大きな役割を果たすこととともに、昨

今の青少年の不幸な事件を目にするときスポーツが果たす役割は今後ますます大きくなるとともに、心に大きな安らぎを与えるものと信じております。

今、ご質問の総合スポーツ運動公園の整備を考えると、相当の面積を必要とすることから、場所選定につきましては、環境も関連工事等附帯する様々の点で慎重な検討を行い進めなければならぬと考えてます。

そこで、畑議員が候補地として提案していただいている土地は八上地域における兵庫県住宅供給公社が所有している特定用地であります。ご高承のとおり「福祉と文化の森構想」策定以降状況が大きく変化し、さらには経済情勢も非常に厳しい中、民間活力を生かした土地利用についての活用も図れない状況下でありますので、その方向性も見直さなければならぬ

い時期がまいつております。

八上校区や地元の地権者にご理解とご協力を頂きながら、進めてきた経緯があります。土地利用についての方向転換を図るためには、地元にも理解が得られる活用策を検討しているところであります。多くの市民の要望が強い総合スポーツ運動公園の建設が可能であるかどうか、重要な候補地の一つとして検討を行っていただくことも事実であります。

しかしながら、山麓利用となることから位置的な問題、必要となる面積が広大なこと、さらに建設に伴います環境評価、関連工事等を併せた事業費と経済効果等について引き続き検討が必要であると考えております。

また、合併による財政支援はあるとはいえ、今後、行財政環境は、予断を許さない厳しい状況下

にあります。合併以前から計画をされてまいりました各種の継続事業や合併により新たに生じた行政課題に対応した事業を優先して執行しておりますことから、合併後の財政計画においてこれらの事業が一応の完成を見られますが、できる限り早い時期に候補地も含めて検討を始めていきたいと考えております。



篠山にも望まれるスタジアム施設

代表質問

、4名の代表議員が登壇。市政全般にわたって質問、提言などを行った。

市政執行方針と 教育方針について

【共生クラブ代表】
植野良治議員

質問 民間需要と、個人消費に配慮した平成13年度予算になっているか。

きた事業計画については、よい実行の段階を迎えることから、合併特例債を最優先に活用した平成13年度の普通建設事業費は127億3700万円。平成12年度対比6億1800万円、5・1%の大幅な伸び率となっている。

答弁 平成13年度公共事業費が前年度当初予算と同程度の規模を確保したこと。新たな住宅ローン税額控除制度の創設、中小企業投資促進税制を継続実施するなど、民間投資の促進に資する措置等を講ずるなど計画。

平成13年度の地方債発行額は93億8370万円、そのうち合併特例債は、37億2390万円で構成比率は、39・7%を占めております。なお、平成12年12月ローリングを実施した財政計画の見直しでは、平成20年度時点での起債残高は、476億9938万円になる見通しであります。

質問 一般会計の3分の1を起債による予算編成が将来に大きな不安がある。

答弁 地方財政計画の動向を見極め整合性を図りつつ編成したところであり、これまで積み上げて

質問 合併特例債のソフト事業分は20億円の予定になっている。ハード分の210億円から、ソフト分へまわす工夫を考えられたい。

4月末を目前に「行動計画の素案づくり」を進めております。

答弁 新しい文化創造に関する事業の実施、民間団体への助成・伝統文化の伝承等に関する事業の実施等であります。いずれに致しましても、ハード分は210億円での事業執行、ソフト分は20億円の基金造成ということ、ハード分からの組み替えはできません。

質問 学校週5日制の2002年を目前にして、教育委員会の取り組みは。

答弁 完全学校週5日制への対応として「スポーツクラブ21ひょうご」を、子ども達が地域の人々とふれあいながら健全な心身を養う場と捉え、クラブ設立に向けての支援や事業の推進を図り、活動をサポートしたい。

質問 「人権教育及びび人權啓発に関する法律」の施行により、篠山市の実情を踏まえて、施策をどう策定し、どのように実施するのか。

質問 法改正にともなう、小、中学生の奉仕活動についての対応は。

答弁 篠山市人権教育のためのまちづくりが市民総参加・参画活動として推進するため「篠山市人権教育のための国連10年推進本部」を昨年設置し、

質問 自治体職員としての人権研修は充分出来ているか。



市内には伝統文化財が多い

一、教育について 二、高齢者の健康増進について 三、環境問題について

【公明党代表】
藤本 忠 男 議員

質問 篠山中学校の移転改築を機に、通学区は小中学校共に市全体に立つた見直しが必要であり、また今田は幼稚園から中学校まで同じなので、生徒関係の固定化が心配、早急に基本姿勢を示し保護者と地域への啓発運動が大切であり、その時期と方法は。

答弁 教育委員会では昨年11月に篠山市教育構想検討委員会を発足、少子化に伴う児童生徒数の減少に対して協議、検討してきた。その結果、豊かな人間関係を築くために適切な児童生徒数を確保し、一人ひとりが基礎基本の学力を効果的に保障

できる規模の学校をめざす。そして、人口比重及び通学距離に応じた配置、学習するのにふさわしい環境立地をめざすこととする。また、今田地域での学校の実態を懸念されているが、他校との交流事業や地域でのふれあい活動を積極的に取り入れることにより、将来の子ども達の人間性を育む教育の実現をめざしたい。

具体的な見直しの時期及び方法については、今後の検討委員会の審議を踏まえ、鋭意努力していく。

質問 昨年より介護保険が始まり、新年度老人医療費ではその効果がみられない、原因は施設介護の未整備との事ですが、どの様にされるのか。

高齢に成っても健康での長生きが大切、予防医学と生活習慣病予防のため、自助努力に対して優遇措置・保険料の還元措置を考えてはどうか。

答弁 介護保険制度は、居宅サービスを重点に置かれ、施設サービスはどうしても在宅での生活が困難な高齢者を対象としており、希望者から見ると現在の介護保険計画での今後において、現有施設でまかなえると思われる。今後、施設サービス

希望者の増加に伴い、平成15年度の本計画見直し時期に対応していく。また、各種保険制度は、市民全体、いわゆる被保険者全体を勘案しての必要不可欠なものであり、現制度の中では還元措置は

出来ない事になっている。老人医療等においては、長期無診療者の表彰など、今後検討していく。また市民の健康の予防と増進、生活の安定と向上、生きがい対策など尚一層充実した事業を展開していきたい。

して幼児・生徒の環境教育はどの様に取り組みされるのか。

答弁 不法投棄において、警察や市民と連携し環境美化に努めたい。市としてはグリーン製品推進に取組み、環境ISO取得については今後の課題として検討する。さらに、環境教育については、教育委員会と連携を図りながら、小中学校において取り組んでいくことと共に、教育機会の提供として、ゴミ問題を始めとする環境問題の情報発信に努めたい。

質問 家電4品目が4月から有償処理に成り、不法投棄が心配されます。

環境監視員制度の導入と実態調査が必要であり、またグリーン製品の推進や環境ISOの取得、そ



清掃センターに設置された看板



青山歴史村

陳情の主旨
市立青山歴史村所蔵の藩制史料は篠山市指定文化財であるが、保管状況から見て早急な修復を願う。旧4町の町史の町史編纂資料目録の作成について、本郷記念図書館建設構想のうちの緊急な準備事業についての陳情。

陳情の主旨

市立青山歴史村
名誉館長 畑 治男
他2名

◆藩制史料の修復と町史編纂資料の目録作成について



本郷こしお団地

◆畑地域の振興について
若人の定着と人口の増加を図り、当地域の活性化を願い出来得れば、低家賃で、子どものある若夫婦の入居を優先するなどの住宅施策を望む。

陳情の主旨

畑校区自治会長 10名
鏑市水系協議会長

◆畑地域の振興について

陳情・要望を
うけました

公有財産有効活用調査特別委員会を設置

合併の最大の課題であります行財政改革については、昨年の6月定例議会において特別委員会を設置し、市民の付託に応えるべく市長部局と切磋琢磨しながら、行政改革及び財政の健全化について調査検討を行い、その実行に向けて多くの意見を付してきたところであります。

特に大切な事は、一郡一市の視点に立って有効かつ適切な施設整備と併せ、既存の公有財産の土地及び建物については、企業感覚をもって統廃合も見据え、効率的かつ有効な市民のニーズにあった活用が必要であり、委員の定数は9人とし、設置期間につきましては審査終了までとしております。

公有財産有効活用調査特別委員会

平成13年3月27日設置

委員長	田 中 悦 造
副委員長	澤 光 吉
委 員	酒 井 朝 洋
委 員	畑 俊 三
委 員	植 野 良 治
委 員	山 本 博 一
委 員	足 立 義 則
委 員	赤 松 賢 宥
委 員	松 本 孜

公有財産有効活用調査特別委員会の
設置に関する決議

目 的 公有財産の有効活用に関する調査検討

設置期間 審査終了まで



議会開催のお知らせ

6月本会議の予定

14日(第1日)

条例・補正予算等

21日(第2日)

一般質問

(代表・個人)

28日(第3日)

その他議案

ぜひ傍聴に
お越し下さい

インターネットでも
市議会だよりが
ご覧になれます。



ホームページは
<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/>
です。

議会のうごき

平成13年2月～5月

2月15日(木)	民生福祉常任委員会(所管事務調査)
16日(金)	正副委員長会
20日(火)	総務文教常任委員会(所管事務調査)
21日(水)	・22日(木) 会派共生クラブ、公明党(政務調査)
23日(金)	産業建設常任委員会(所管事務調査)
26日(月)	民生福祉常任委員会(所管事務調査)
27日(火)	議会運営委員会
28日(水)	議員全員協議会
3月6日(火)	3月1日(木) 会派新政会(政務調査)
7日(水)	第18回篠山市議会定例会(初日)
8日(木)	第18回篠山市議会定例会(第2日)
9日(金)	第18回篠山市議会定例会(第3日)
12日(月)	第18回篠山市議会定例会(第4日)
13日(火)	議員全員協議会
14日(水)	総務文教常任委員会(予算審議)
15日(木)	民生福祉常任委員会(予算審議)
16日(金)	産業建設常任委員会(予算審議)
19日(月)	総務文教常任委員会(予算審議)
21日(水)	第18回篠山市議会定例会(第5日)
23日(金)	議会運営委員会
27日(火)	議員全員協議会
4月5日(木)	総務文教常任委員会(予算審議)
13日(金)	第18回篠山市議会定例会(最終日)
16日(月)	議会広報編集特別委員会
17日(火)	阪神市議会議長会局長・議長会定例会(伊丹市)
18日(水)	第66回近畿市議会議長会定例会(桜井市)
19日(木)	公有財産有効活用調査特別委員会
25日(水)	議会運営委員会
26日(木)	議員全員協議会
27日(金)	議会広報編集特別委員会
5月2日(水)	第205回県市議会議長会総会(小野市)
10日(木)	総務文教常任委員会(所管事務調査)
11日(金)	議会広報編集特別委員会
14日(月)	民生福祉常任委員会(所管事務調査)
16日(水)	議員全員協議会
17日(木)	公有財産有効活用調査特別委員会

まちなみ

あなみ

▼26名でスタートした議会であるが、4月8日の不祥事により、1名欠員となった。市民の皆さまに弁解の余地もない。市民の負託を受けているからには、自らを律して信頼回復に努めたい。

▼第18回市議会定例会は、3月6日から27日までの22日間であった。13年度市長の市政執行方針、教育長の教育方針、予算審議などが主なものである。見出しの通り、一般会計は317億7500万円、12特別会計、2公営企業会計を合わせた総額619億3900万円を可決、成立した。総額で8・8%と大きく伸びたのは、起債の約40%を合併特例債でまかなったからである。この合併特例債を活用することにより、市民生活にかかわる建設事業は多い。合併パブルとも言われる所以だ。

▼会期中に、第73回春のセンバツ高校野球大会があった。雨の開会式であった、その開会式前に、京都府立ろう学校の校歌の斉唱があった。広い甲子園の夢舞台で大きな身ぶりで手話を交えて「夢・勇気」われら若人、勇気をわかせ、と歌った。スタンドから大きな拍手と感動を呼んだ。同校の野球部は、いつも負け試合ばかりであったが、ある公式戦で接戦にもつれこむ、部員

から、勝っても歌う校歌がないことに気づく。校長先生は手話で表現しやすい歌詞をつくり、大中恩氏が作曲を担当披露となったが、高野連の粹な計らいは「21世紀枠」ともに新鮮にうつる。

▼家電リサイクル法が4月より施行になった。駆け込み廃棄とともに家電製品が空前の売れ行きだったという。皮肉な結果となったが、今後も粗大ゴミの収集を有料化する傾向は免れない。「4品目」以外の粗大ゴミを急いで捨てた人も多い。しかし、不法投棄だけは、市民の皆さんと厳しくチェックしたい。ポイ捨て等防止条例は7月より施行となる。エリアを市内全域とするもので、環境美化は私達市民に与えられた責務でもある。ところで、今回、初の代表質問があり、市議会であることの実感がわく。代表質問の内容は各会派で政務調査を精力的にこなし議論を尽くすだけに、意義は大きい。今後、代表質問に対する時間配分など課題は少なくないが合理的改善策で、議会の活性化が求められる。

▼新年度となり広報委員も初心にかえり、議会の動きを追っていきます。ご支援の程お願いします。

- 委員長 市野 忠志
- 副委員長 足立 義則
- 委員 酒井 朝洋
- 澤野 光吉
- 波多野 元治
- 河南 克典